

私たちの発見した遺伝子を提供した縁で、イタリアのボローニア大学から招待を受けた。一時間遅れの国際列車から駅ホームに降り立った途端、「ようこそボローニアへ、広島大学〇〇教授」の



室岡 義勝
 (バイオテクノロジー)

科学者の道草②

欧州最古の大学を誇るイタリアの大学街

放送が流れてきた。憧れの大学玄関口で、こんな歓迎を受けるとは思ってもよらなかった。

出迎える教授から、「昨年、私たちの大学は創立九百年記念祭でにぎわいました」と聞かされた。



ルネサンス文化華やかなころ、この大学は教会の反対を押し切り、人体解剖実験を初めて行った。古い解剖台の教卓を据えた荘厳な階段教室で、西洋科学の伝統を受け継ぐ学生や教師を前に、私は高等教育を始めて百年にみたない東洋の大学で研究した成果を、講義すること

の感慨をかみ締めた。

ボローニア大学はその昔、ローマ法典の学問で名声を極め、欧州各地より学生が集まってきた。この街の中心に、高い壁に囲まれた治外法権のスペイン領がある。ここは、スペイン王侯貴族の宿泊と子弟の寮として使われてきた。門前にはナポレオンを踏みとどめた鉄柵がある。私の講義を受けたスペイン皇室の留学生から、指導教授・助教授と共に、お茶の招待を受けたII写真。ゴシック様式の建物は、中

庭を取り囲んで、留学生の個室、食堂、図書室、謁見の間、教会、二階に国王の寝室と居間が配置してあった。

荘重な国王の居間で、宮殿付の老給仕から、恭しく差し出されたクッキーと紅茶を、顔を見合わせながら、緊張していた。しよせん、私たち大学教授は庶民にすぎないことを実感した。

H 広島大学マスターズは、広島大学を退職した教職員で組織しています。市民を対象にした講座も行っています。
 【問い合わせ】
 kazuwp@hiroshima-u.ac.jp(渡部)



過去の記事